

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名 ゆうあい グループホーム

日付 平成 20年 12月25日
特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験10年

評価調査員 介護支援専門員経験5年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

未だ11月半ば過ぎというのに、勝山へ向う高速道路では雪が舞っていたので「ゆうあいの皆さん、今日予定の神庭の滝ドライブは残念!という事になるだろうな」と思いながら入らせて貰った。勝山の地らしい鯖入りの散らし寿司がメインの美味しいお昼を頂きながら、そっとその事をAさんに聞いてみると「寒うても行くよ」の返事。「行く・行かない」は本人が決定。結局少しの人は留守番という事で、車の人となった。標高が高くなるにつれて雪は激しくなり、滝までは向えなかったものの「美しい紅葉と雪景色の、地元の人にとっても珍しい風景」を堪能させて貰った。

次第に「昨日出来ていた事が今日出来ない」という事も増えているようだが、一年ぶりに会う皆さんの様子は、殆ど変化を感じさせない位だ。利用者の平均年齢が85歳という事なので身体機能のレベル低下は当然の事なのに、中でも百歳のBさんがとりわけ元気だ。精気に溢れ、度々会いに来てくれる彼氏(事務長)は「食うちゃんか思う程可愛い」ようだ。百歳の祝いの時にホームが作成した立派な「写真集」や、Bさんの居室の写真、そして今日も「会いに来てくれたから頭が痛いのが直った」という顔、又、数々の記録から、Bさんの百歳の青春が多くの人々の支えによって持続されている事がよく判った。Bさんは片時も一人では居れない。夜も添い寝が必ず要る。居室には職員用のベッドも並べられ、Bさんの娘も二人で交替している。このホーム独自の素晴らしい記録「00さんのホームでの生活の様子」ノートをスタッフが愛情たっぷりに書いたり、作品を貼って作り上げているが、Bさんの場合は娘二人もノート作りに参加している。家族の絶大な協力の他に、ホームの母体である近藤病院の理事長・事務長・看護部長を始めとして多くの理解や支援が強く感じられる。これほど暖かくそして強い応援があるからこそ「元気一杯、百歳の青春」が保たれているのだろう。今日はこれに加えて「家族会」の存在もぐんと大きく感じられた。一人の利用者に対する強力な支援と同時に、他の利用者や家族の思惑への配慮・バランスの調整を家族会が担ってくれている。更に、近藤医院の時代から営々とこの地域の為に医療福祉の貢献を続けてきた法人グループへの信頼が土台となっている事もあって、地元の人達とも強い絆で結ばれていて、この地の皆さんに頼られ、愛されるホームになっている。

特に改善の余地があると思われる点

管理者・職員は数多くの業務を力一杯頑張っこなし、仕事の枠を遥かに越えたサービスも多く見られる。法人グループのこのホームへの協力・協働体制も、類を見ない程と思われる。今の所、改善の余地はあまり考えられず、強いて言えば、簡素化出来る業務があれば、仕事量を減らす方向で考えてみては如何だろうか。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…このホームの大きな目標の一つである「個々の思いを大切に」は、ホーム開設依頼大切にされ続けており、改善項目こそ挙げていないが、日々「これで良いか?この人は本当は如何したいか」探りを入れ、気付いたら改良する努力を続けている。</p> <p>2、全体的に見て…この3年余りの間、帰宅願望が強かったCさんを担当職員は毎月遠方の自宅まで送り迎えの支援をしてきた。他の職員もこの個別支援に協力してきた。ところが最近はこの人の「家に帰りたい」という言葉が聞かれなくなってきたと言う。「ここに居れば、娘も来てくれる。ここに居れば安心」とここが我が家になってきたらしい。長い間の職員の粘り強い個別支援とそれを支えたホームに拍手を贈りたい。このホームが目指そうとするものが、私の心に強く響いてくる。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…隣接の「ゆうあい保育園」も始まり、その工事関連で中断していた菜園等も整備され、利用者の活動や食材へと役立っている。3人程のデイサービスの利用者の仲間も加わり始め、新鮮な人間関係も芽生えていると聞いた。これらの改善全てが、今まで以上に、より良い場作りに役立ち、活気をもたらしてくれていると思われる。特に日常的に幼児の愛らしい姿が見られたり、触れ合いがあるのが良い。当面は今の状況を充実させていくのが良いだろう。</p> <p>2、全体的に見て…今日の皆さんの仕事は菜園で収穫した青豆のさや取り。「この豆、何にすりゃ?」「豆ご飯か?」「お正月のお節に入れる?」皆、てんでにあれこれお喋りしながら、手もせっせと働いている。南側で背に太陽を受けて居眠りする椅子の人も居れば、畳コーナーのホームコタツで職員とお喋りしている人も居る。職員の声掛け・働き掛けも楽しげだ。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…担当職員が「この方を、私がしっかりと見ますよ」といった感じで、その人の生活歴や経験・今の思いを知る為の努力をしている。情報をしっかり得たら「どうしたいか?」が把握出来る事が多いと言う。今のままのやり方を続けて、情報の共有を徹底していけば良いと思う。</p> <p>2、全体的に見て…以前より書き綴っている一人ひとりの「ホームでの生活の様子」ノートからは、その人の力と経験が尊重されている事がよく伺われる。Dさんの自筆のたよりも大切にこの中に残されていて、この人の思いが伝わってくる。誕生日プレゼントの装丁も立派な個人アルバム等、このホームでは「思い出作り」にも力を入れていて、その効用も今後大きくなるだろう。地域との交流の絆にと、ティッシュペーパーの布カバーを、手縫いで数多く作り、プレゼントしたという。私達もお土産に頂いて帰ったが、その丁寧なつくり、皆さんの力とスタッフの支援の有様を思いやった。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…訴えの少ない人への対応や外出のチャンスを今以上に増やしたい等、今のケアを常に反省し、更なるサービスの質の向上に向けてよく努力している。</p> <p>2、全体的に見て…「サービス向上委員会」や「ヒヤリハットの要因分析」等、法人全体として又、ホームとしてあらゆるチャンスを捉えてケアの質の向上に目を向けている。特別な問題が考えられる場合には、理事長・ホーム・家族・他の利用者や家族・それぞれの立場からのディスカッションが記され、力を合わせて解決策を見つけようとしている。運営推進会議の記録からも地元の人々や家族の意見や希望・提案がよく記されている。理事長が数年前の「全国ボランティアフェスティバル開会式」の紀宮内親王のお言葉「自分の持てる小さな力を誰かに、或いは何かに役立てて行く事は、社会の中で自分の居る場所を誰かに確認し、見つめ直す大切な過程」を職員共々大切にし、実践している証しが、ここに数多く見られる。</p>		